

地域防災 News

Vol.3

令和6年
12月発行

地域防災Newsとは

名古屋市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）をはじめ地域の皆様に、防災に関する情報をこのNewsで定期的にお届けいたします。

千種



10月12日から13日にかけて、「ちくさ子ども防災キャンプ」が千種小学校で行われました。このイベントは、千種区が学区をはじめ各団体の協力を得て開催するもので、区内の小学生とその保護者54名が参加しました。

初日はシェイクアウト訓練、簡易トイレ使用訓練、地下式給水栓からの給水訓練などを行ったほか、千種区で起こり得る災害を学びました。また、東日本大

震災の被災地である岩手県陸前高田市から語り部をお招きして、震災や避難所生活のリアルな実体験と教訓を語っていただきました。

夕食では、参加者が汲んできた水をカセットコンロで沸かし、備蓄食料のアルファ化米を食べて、災害時の食事体験をしました。また、グループごとに話し合っ

イベントの
詳細はこちら



ちくさ子ども防災キャンプ

地域の防災活動

10月20日苗代小学校で「なえしろあそぼう祭（さい）」が開催されました。

あそぼう祭は遊びながら防災を学ぶをテーマに、楽しくまじめに防災を学ぶイベントとして、苗代学区連絡協議会が地域の各団体の協力を得ながら平成23年から開催している防災イベントです。

今年は、学区内の小学生及びその保護者をはじめ約1,100名が来場しました。

「防災トイレ疑似体験」、専用ジャッキを使い人力で車を移動する「GOGOジャッキ体験」、がれきの下敷きになった人形を救出する「応急担架deレスキュー体験」や災害時に役立つ趣向を凝らした防災ワークショップなど、様々な体験ブースがグラウンドや体育館に設けられ、来場した子どもたちは、体験を通して楽しみながら防災を学びました。

守山



なえしろあそぼう祭

令和6年度防災講演会



11月3日 中区役所ホールにて、「令和6年度防災講演会」が開催されました。

災害対策委員や災害救助地区本部委員の方など、地域の防災活動の中心となる市民の方をはじめ、地域防災に関心のある方およそ160名に参加いただきました。

講演会では、三重大学大学院の川口教授から、「巨大災害に備える」と題して基調講演をいただいたほか、能登半島地震で大きな被害を受けた、石川県七尾市において、支援を行った名古屋市職員や避難所運営の中心となって活動された、関軒明宏（かんのきあきひろ）さんを現地からお招きし、避難所運営での経験や教訓等についてご講話いただきました。

また、能登半島地震において、被災地への支援活動をされた、タレントのはるな愛さんをお招きしての、トークセッションでは、能登半島地震からの学びや、今後の地域防災について、議論されました。

講演会の様子は名古屋市ホームページで公開していますので、是非ご覧ください。

名古屋市防災講演会

検索



催事のご案内

防災人材交流シンポジウム

つながぎ舎

参加費
無料

過去の大災害である東日本大震災の教訓や、発生から約1年を迎える能登半島地震での課題等を学びながら、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害による被害を減らすために、何ができるか一緒に考えてみませんか。

開催日 令和7年
1月11日(土) 12:30-18:00

場所 名古屋大学豊田講堂
(千種区不老町)

プログラム

- 第1部 報告・講演
- 第2部 防災人材
大ワークショップ（分科会）
参加定員200名
- 第3部 ワークショップ成果発表・
ディスカッション



※事前申込制
QRコードを読み取り
必要事項を記入し登録。

締切:12月23日(月)

<https://forms.gle/JAruqPa2Vuxn6WdC6>

申込フォームQR



地域防災についてのアンケートへのご協力をお願い

災害対策委員の皆様へ

発生が危惧される南海トラフ巨大地震をはじめ、近年頻繁に発生している大型台風や集中豪雨といった風水害に備え、よりきめ細かく地域ごとの防災活動を推進していくため、災害対策委員の皆様が認識されている学区又は町内ごとの防災に関する現況や課題、あるいはニーズをお聞かせください。

各委員の皆様へはアンケート用紙をお配りさせていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。

